



2024年11月11日

各 位

会社名 南海プライウッド株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 徹
(コード：7887、東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 管理部門長 松下 直樹
(TEL. 087-825-3615)

営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）において、営業外費用を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（デリバティブ評価損）の内容

2025年3月期中間連結会計期間において、デリバティブ評価損586百万円を営業外費用に計上することとなりました。これは当社が将来の外貨建輸入材の仕入取引の支払いに充てるため締結した通貨オプション取引の時価評価により生じたものです。

なお、デリバティブ評価損益はキャッシュ・フローの動きの伴わない期末日時点のデリバティブ取引未決済残高の時価評価であり、為替相場が2024年9月末時点に向けて急激に円高方向へ推移したところで発生した「評価上の損失」であります。

2. 業績に与える影響

上記の営業外費用につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しておりますのでご参照ください。なお、当該デリバティブ取引は外貨建て仕入における決済に使用するため、時価評価の対象となるデリバティブ取引未決済残高が減少していくことで、四半期ごとの評価替えの際には上記の営業外費用の計上が業績に与える影響も減少することが見込まれます。さらに、今後の為替相場の動向は未確定な部分が残るものの、現在の為替相場水準においては直物レートより有利な為替レートでの外貨調達ができていることから、2024年5月15日に公表しました「2025年3月期の通期連結業績予想」に変更はありません。

なお、為替相場の動向を含めたビジネスの状況等を総合的な観点で引続き精査し、業績予想の修正を要することが判明した場合は、速やかに開示いたします。

以 上